

「鍛冶職人・打刃物の世界」

越後与板打刃物匠会が開催



食品以外の展示会では異例の人気となった

から23日までの会期で東京都中央区室町の日本橋プリ

刃物は日本利器製作所 武生・0778(24)5111

越後与板打刃物匠会(久住誠一会長)は、2月21日

1300人が来場した。来

場者は、一般の人がほとんどで3日間トータル約

連日多くの来場者

伝統技術製品を展示・即売

東京・日本橋で

場数もコンスタントに1日平均約400人台とばらつきがなかった。日本橋プリ

TOP トップ工業株式会社
 〒955-8678 新潟県三条市塚野目2190-6
 TEL(0256)33-1881
<http://www.toptools.co.jp>

ラジオペンチ

「食品以外の展示会では異例の人気となった」という。見て、買って行く商品は仕事関係よりも一般の人が多く、400年余の伝統技術に守られて作った包丁、

伝統が継承される最高の刃物技術を披露

小刀、かつお節削りと「食」に関わる商品が多かった。特に女性には小さくて手で握り易い「小刀」に人気が集まった。中央部に一本の木材とそれを削る鉋を設置し、包丁と研ぎとこの切れ味を確かめる野菜の試し切りをする実演場所を設け、周りを越後与板の鍛冶職人が自作の製品を販売した。

園芸盆栽用具

登録商標

ボンサイ印 BONSAN

発売元 境製作所

兵庫県三木市加佐 0794(03)1030

また、毎年与板の鍛冶職人の自宅や工場に訪れる埼玉大学の学生も来場し、鉋を慣れた手つきで削っていた。久住会長は、世の中で経済的に変動して行く過程で、鉋、鑿など打刃物が必ず必要となる時期が来る。そのような時に伝統が継承される最高の刃物技術が語り継がれるだけで無くなってしまうら意味がない」と語った。

取材当日は平日とあって日本橋中央通り界隈は、職

い。いつでも対応できるよ

うあらゆる人に今後は積極

的にPRして行こうと思っ

ている」と述べ、技術の継

承についても、「今、Uター

ン就職などで与板に戻り鍛

冶師になるものも減り、大